

□原色版『赤い頭巾冠れる子供』はハツ切
『朝日の窓』及び『ワンサンヌの池』はワ
ットマン四切大に寫生せられたるものに
て『ワンサンヌの池』は製版の時日不足
の爲非常に出来に於て殘念に存じ居候。

『背景の下繪』は横二尺縦八寸大のものに
て候

□前號挿繪『上高地』は製版不出来にて原
畫の趣を失ひ候

□次號原色版には大下氏の『木崎湖』三條
千代子氏の『薔薇』及丸山晚霞氏滯歐中の
作品並に中川氏の水彩畫挿入の筈

□記事には丸山、三宅、織田、鶴澤、磯、
の諸氏の御寄稿有之べく候

□日本水彩畫會研究所六月例會は二十三
日午後より開會、渡邊寤也、岡精一、永
地秀太氏來會出席生徒數、三十六名、出
品六十點あつた。

□同所は七月十五日より九月八日迄夏季
休暇である。十四日には七月例會を兼ね

丸山晚霞氏歓迎會を催された、出席總人
員五十名丸山氏を初めとし岡、永地、藤
島、磯部、望月、戸張、眞野諸氏出席丸
山氏の面白き旅行談の後、晩饗を共にし
て、八時頃閉會された、

問に答ふ

■一、油繪に艶油を塗りて何の効有りや
塗らざれば如何。二、河上より描いて水
の前方に流るゝ様にするには如何なる特
長を捕ふべきか。三、水彩繪具のフーカ
ースグリーンが光澤を有するは何故なり
や、之れを光からない様にする方法あり
や、又光ても差支へなきや、四、今までの
統系を見て美術學校出身と講習所出身と
いづれが成功しつゝありや、各出身の大
家の姓名を問ふ、五、美術學校の洋畫家
の諸先生の住所姓名を問ふ、六、文房堂
の所在地を問ふ、七、山口縣に於て講習會
を催さるゝ計畫有りや(福井春帆)◎一、
繪具に光澤を持たす爲に用ゆれども、塗
る必要なし、二、岩に激する波等に注意
を拂はる可し、三、フーカースグリーンと

かカンボージの様な色の光るのは繪具の
特質なればやむを得ず、若し光るのを嫌
はるゝならば其等の色は用ひられざるが
よからん、たつて用ひ度いならホワイト
を入れゝば光澤は失なはる可し、四別に
統系なるものなし、大家とても標準は、ど
の位なるか區別に苦しむ故姓名を指定さ
るれば取調ぶ可し、五、黒田清輝、(麴町
區平河町六ノ一四)、岩村透(本郷區龍岡
町)岡田三郎助(府下澁谷町下澁谷町一八
三八)和田英作(麻布區霞町二六)藤島武
二(本郷區曙町五)長原孝太郎(本郷區駒
込動坂町三三六六)小林萬吾(赤坂區新坂
町六五)中村勝次郎(下谷區谷中町三七)
久米桂一郎(麻布區飯倉町片町六)六、文
房堂は神田區表神保町二番地、七、無し、
■私は別記載の如き會を設立し廻覽帖を
編纂して繪畫研究の一端とせんかため斯
く計畫しました、春鳥會の先生方に御賛
成を願ひます、そして廻覽帖の御校閱を
御願致しますのですがいかでせうかお
伺致します(きさらぎ會主人)◎承知しま